

今年度のテーマ

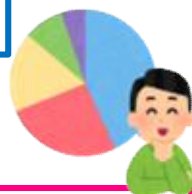
AIに負けないで 先生の手言葉には力がある
～保護者の背景や思いを引き出すスキルを身につけよう～

内容

連絡会・交流会の振り返り
実践シートの共有

参加者アンケートより

- ・世代関係なく、意見を出し合うことができた。
- ・地域も世代も違う保育者とのグループワークを通して、自分にはない発想や意見が聞けて良い刺激になった。
- ・身近にあるような事例だったので、自分(自園)だったらどうするだろう・・・と考える事ができた。
- ・グループで話中で、共感する部分や新たな見方、捉え方につながる部分があった。
- ・さまざまなグループの発表を聞く中で、保育者は答えを出すのではなく、相手の思いや考えを尊重し、応援する立場であると感じた。
- ・ロールプレイとお便り交流で、参加しやすく楽しい研修だった。
- ・発言しやすい雰囲気がよかった。様々な意見が聞けて勉強になった。
- ・和やかな雰囲気、参加者が意見を出し合い楽しく研修できたのがよかった。



地域リーダーより

～連絡会・交流会の振り返り～

- ・参加者の年齢層が徐々に広がってきたように感じる。今後、親育ち支援の取組がより多くの人に浸透していくとよい。
- ・アイスブレイクでリフレーミングを取り入れたのがよかった。その後の演習にもつなげることができ、効果的だったのではないかな。
- ・他の保育者の保護者対応を見ることがないので、演習で見ることができてとても勉強になった。
- ・交流会への参加を呼びかける際、チラシがあることで声をかけやすかった。
- ・ファシリテーターとして、グループの参加者から多くの意見を引き出すことを意識した。経験年数に関わらず、どの参加者も自分の考えを話すことができていた。
- ・保護者の背景や思いを引き出すために、情報を共有する時間やグループ内で話し合う時間をもう少し増やせばいいのではないかな。
- ・保護者が困ったときに、相談したいと思ってもらえるような保育者になるにはどうしたらよいか、交流会でそういった学びがしたい。内容を見直して、リーダーも参加者も学び合えるような会にしていきたい。

～実践シートの共有～

- ・保育者が保護者のことを知ろうとする姿勢が重要であると感じた。
- ・保護者の様子や置かれている状況をふまえて、支援方法を探っていくことで、少しずつではあるが、子どもも保護者の変容につながっている。

